

2026年3月2日
株式会社かんぽ生命保険

かんぽ経済研究所の設置について

株式会社かんぽ生命保険(東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 谷垣邦夫、以下「かんぽ生命」)は、2026年4月より、社内組織として『かんぽ経済研究所』(所長:木下智雄、以下「かんぽ研」)を設置します。

1. 設置の背景

生命保険業界は、グローバル化の進展に伴う金融・保険関連の規制改正、金融政策の見直し、少子高齢化やSNSの発展による社会構造の変化、デジタル技術の急速な進展など、かつてないほどの経営環境の変化に直面しています。

これまで各部門が個別に調査・研究を実施してきましたが、直面する経営環境の変化に対応するためには、横断的かつ専門的な調査・研究機能の強化が不可欠となっています。こうした状況を踏まえ、シンクタンク機能を担う専任組織として『かんぽ研』を設置します。

2. 調査・研究領域と期待される効果

かんぽ研では、①経済・金融、②生命保険・年金、③人財開発の三領域に関する横断的かつ専門的な調査・研究を通じて、中長期的な視点から当社の経営判断に資する提言・情報提供を行います。各領域で期待される効果は、以下のとおりです。

①経済・金融

- ・経済・金融に関する深い知見に基づく資産運用力・リスク管理能力の向上
- ・マーケット見通し等の分析に基づく実現性の高い成長戦略の策定
- ・サステナブル投資、インパクト投資の高度化

②生命保険・年金

- ・市場動向を踏まえた訴求力のある商品の開発と販売力の向上
- ・国際規制等の動向に基づく先を見据えた経営戦略の策定

③人財開発

- ・人財育成施策や研修の高度化によるマネジメント能力の向上
- ・大学との産学連携を通じた人財交流等による人財開発

また、当社内での活動に加え、研究員等による社外への情報発信を積極的に行い、かんぽブランドの向上を図ります。

3. 将来的な展望

当社では、社会課題の解決や持続可能な社会の実現に向けて、サステナブル投資、インパクト投資に取り組んでいます。また、アカデミアが持つ革新的な技術開発や事業への投資を推進するため、7つの学校法人等と連携に関する覚書・協定を締結しています。

かんぽ研では、連携先の大学、研究機関、他の金融機関等との協業・人財交流を通じて、独

自の産官学金のネットワークを構築し、社会課題の解決やイノベーションの実現に貢献していくことを目指します。

【参考】組織改正および役員異動のお知らせ(2026年3月2日)

https://www.jp-life.japanpost.jp/information/press/2026/abt_prs_id002152.html